

第 46 卷 第 10 号

(通卷第 524 号)

Vol. 46 No. 10

植物研究雜誌

THE JOURNAL OF JAPANESE BOTANY

昭和 46 年 10 月 October 1971



津村研究所

Tsumura Laboratory

TOKYO

昭和四十六年十月十五日印刷
昭和四十六年十月二十日発行
郵便物認可
(毎月二十日発行)

目 次

三井邦男：日本産ノキシノブ属の孢子表面の模様について……………	289
布 万里子： <i>Usnea bayleyi</i> (Stirt.) Zahlbr. の化学成分の分離について ……	294
黒川 道：地衣体を構成する菌類および藻類の分離と培養によって得た二・三の 知見……………	297
木村有香：那須地方産ヤナギ属の一新雑種……………	303
北川政夫：東亜植物断想録 (28)……………	307
伊延敏行：ムラサキリュウキユウツツジの自生に関する一考察……………	311
金井弘夫：ヒマラヤ植物ノート (1)……………	317
雑 録	
伊藤 洋：ホラカグマの新変種…305——柳沢新一：ムラサキツユクサの開花 温度について…310——久内清孝：イトスギトウダイと新称する植物…316 ——水島うらら： <i>Barbula prionophylla</i> Saito は有効名か?…320	
新 刊……………	296, 302, 315

Contents

Kunio MITSUI: Spore ornamentations of Japanese species of <i>Lepisorus</i> ..	289
Mariko NUNO: On the isolation of chemical ingredients of <i>Usnea bay-</i> <i>leyi</i> (Stirt.) Zahlbr……………	294
Syo KUROKAWA: Results of isolation and culture of lichen fungi and algae……………	297
Arika KIMURA: <i>Salicis nova hybrida ex regione Nasuensi</i> ……	303
Masao KITAGAWA: <i>Notulae fractae ob floram Asiae Orientalis</i> (28)…	307
Toshiyuki INOBE: A study of the autogenesis of <i>Rhododendron hortense</i> Nakai……………	311
Hiroo KANAI: Notes on Himalayan plants (1)……………	317
Miscellaneous	
Hiroshi ITO: A new variety of <i>Ctenitis eatonii</i> from Ryukyu…305—— Shinichi YANAGISAWA: On the temperature for flowering in <i>Trades-</i> <i>cantia</i> …310——Kiyotaka HISAUCHI: <i>Euphorbia cyparissias</i> L. in Japa- nese garden and new Japanese name for it…316——Urara MIZUSHIMA: On the nomenclature of <i>Barbula prionophylla</i> Saito…319	
Book review…	296, 302, 315

[表紙カットの説明] *Meconopsis villosa*. ネパールの本草書 Bir Nighantu の稿本の図より改写。高山性で肥厚した根をもつこと、剛毛を密生する性質などがよく描かれている。花が無いのは雨期を避けて秋に写生に出かけたためだろう。

(金井弘夫)

[Explanation of the cut on the cover] The figure of *Meconopsis villosa* copied from a Nepalese herbal book, "Bir Nighantu." (Hiroo KANAI)

投稿規定

1. 論文の投稿者は原則として本誌1年以上の購読者であること。
2. 文章は簡潔に書くこと。
3. 論文の脚注には著者の勤務先(勤務されていない場合は住所)とその欧文訳を付記すること。
4. 本論文と雑録の著者名にはローマ字綴り、題名は欧和両文で付けること。
5. 和文原稿は平かな交り、横書のこと。植物和名には片かなを用い、なるべく400字詰の原稿用紙を用いること。欧文原稿は“一行あき”にタイプすること。
6. 和文の本論文には欧文の、欧文のそれには和文の簡単な摘要をつけること。
7. 原図には必ず倍率を表示し、図中の記号、数字には活字を貼込むこと。原図の説明文は2部を作製し、1部はたやすく剝がすことができるように貼っておくこと。図は刷上りで頁幅か又は図の側方に10字以上のあきが必要である。
8. アート紙使用のプレートについては実費を著者で負担のこと。
9. 登載する順序や体裁は編集部にお任せのこと。活字の指定は編集部ですが、特に希望される個所があれば鉛筆で記入のこと。
10. 本論文に限り別冊50部を進呈します。それをこえる部数については実費を著者で負担のこと。
 - a. 希望される別冊の部数は論文原稿に明記のもの以外は引き受けません。
 - b. 雑録の別刷は1頁以上のもので実費を著者が負担する場合に限って作成します。
 - c. 著者の負担する別刷の代金は印刷所から直接に請求しますから印刷所へ御送金下さい。御送金の後に別刷を郵送します。
11. 送稿の際には住所と郵便番号とを明記すること。
12. 送稿や編集に関係した通信は 東京都新宿区北新宿3-20-1, 〒160, 東京薬科大学 藤田路一あてのこと。

編集員

Members of Editorial Board

朝比奈泰彦 (Yasuhiko ASAHINA)

編集員代表 (Editor in chief)

藤田路一 (Mitiiti FUJITA)	原 寛 (Hiroshi HARA)
久内清孝 (Kiyotaka HISAUCHI)	伊藤洋 (Hiroshi ITO)
井上浩 (Hiroshi INOUE)	木村陽二郎 (Yojiro KIMURA)
木村雄四郎 (Yushiro KIMURA)	小林義雄 (Yosio KOBAYASHI)
黒川遼 (Syo KUROKAWA)	前川文夫 (Fumio MAEKAWA)
水島正美 (Masami MIZUSHIMA)	佐々木一郎 (Ichiro SASAKI)
津山尚 (Takasi TUYAMA)	山崎敬 (Takasi YAMAZAKI)

昭和四十六年十月十五日印刷
昭和四十六年十月二十日發行
第三種郵便物（毎月二十日發行）
認可

代 金 払 込

- 1) 本誌代価普通号1部 150円，増大号は別に定めます。
- 2) 1ヶ年分（雑誌普通号および増大号を含む12回分）1,530円（送料別）。
- 3) 代金払込は，東京都狛江市和泉1421津村研究所（振替東京1680）あてにお送り下さい。

Overseas annual subscription rates: \$ 8 for each volume including postage.

All communications to be addressed to the Editor

Dr. Yasuhiko Asahina, Prof. Emeritus, M. J. A.

Tsumura Laboratory, 1421, Izumi, Komae-shi, Tokyo, Japan

第3種郵便物郵送料値上げのお知らせ

御承知の如く第3種郵便物の郵送料が7月1日より値上げになり，植物研究雑誌送料も7月号以後は1部16円となります（現行6円）。

昭和46年10月15日印刷
昭和46年10月20日発行

編集兼発行 佐々木一郎

印刷者 富田元
東京都練馬区豊玉北2ノ13

印刷所 学術図書印刷株式会社
東京都練馬区豊玉北2ノ13
電話 (991) 3754番

発行所 津村研究所
東京都狛江市和泉1421
(振替東京1680)

定 価 150 円
不 許 複 製

「植物研究雑誌」第四十六巻 第十号 定価一五〇円